

大正二年七月六日第三種郵便物認可
昭和八年三月十六日第三種郵便物認可
康德八年十一月十九日發行(日刊)

政府公報

康德八年十一月十九日
第二千二百六十號
星期三(水曜日)

部令

興農部令第四十九號

茲將康德七年興農部令第三十三號依特產物專管法第二十八條之規定興農部大臣權限委任之件中修正如左
康德八年十一月十九日

興農部大臣 于 靜 遠

- 一 本令中「依特產物專管法第二十八條之規定」改為「依特產物專管法第二十八條第一項之規定」
- 二 第一條加添左列一款
- 三 特產物專管法第二十條規定之興農部大臣之權限
- 三 第二條中「許可」改為「許可或命令」

附則

本令自公布日施行

交通部令第三十二號

茲制定交通部高等船員養成所規則如左
康德八年十一月十九日

交通部大臣 阮 振 鐸

交通部高等船員養成所規則

第一章 總 則

第一條 本所以教授船舶航運上必要之學術技術磨練德操養成優秀之船舶職員為目的

第二條 本所置左列二科

航運科

機 關 科

第三條 各科之修業年限為三年其中教室課程二年實習一年

第四條 學生於教室課程修業中均應居住於本所內寄宿舍

第五條 除本規則所定者外其必要事項由所長定之

第二章 教授科目及實習

第六條 各科之教室課程教授科目如左

航 運 科

一 學科目

修身學

語學

數學

地理學

物理學

化學學

航海學

航法學

機關學

造船學

氣象學

河川工學

法學

船舶衛生

規

二 術科目

技業

體操

軍事教練

機關科

一 學科目

錄 抄 次 目

- 部令 依特產物專管法第二十八條之規定興農部大臣權限委任之件中修正(興農)
- 部令 依特產物專管法第二十八條之規定興農部大臣權限委任之件中修正(交通)
- 省令 依官制第四條所定省長權限之一部委任於市縣長(松江)
- 省令 依特產物專管法第二十八條之規定興農部大臣權限委任之件中修正(興農)
- 省令 依特產物專管法第二十八條之規定興農部大臣權限委任之件中修正(交通)
- 省令 依官制第四條所定省長權限之一部委任於市縣長(松江)
- 省令 依特產物專管法第二十八條之規定興農部大臣權限委任之件中修正(興農)
- 省令 依特產物專管法第二十八條之規定興農部大臣權限委任之件中修正(交通)
- 省令 依官制第四條所定省長權限之一部委任於市縣長(松江)

部令

興農部令第四十九號

茲將康德七年興農部令第三十三號特產物專管法第二十八條之規定依興農部大臣權限委任之件中修正如左
康德八年十一月十九日

興農部大臣 于 靜 遠

- 一 本令中「特產物專管法第二十八條之規定」依興農部大臣權限委任之件中修正如左
- 二 第一條左ノ一號ヲ加フ
- 三 特產物專管法第二十條ニ規定スル興農部大臣ノ權限
- 三 第二條中「許可」ヲ「許可又ハ命令」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

交通部令第三十二號

茲ニ交通部高等船員養成所規則ヲ左ノ通制定ス
康德八年十一月十九日

交通部大臣 阮 振 鐸

交通部高等船員養成所規則

第一章 總 則

第一條 本所ハ船舶航運上必要ナル學術技術ヲ教授シ德操ヲ練磨シ優秀ナル船舶職員ヲラントスル者ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條 本所ニ左ノ二科ヲ置ク

航運科

機 關 科

第三條 各科ノ修業年限ハ三年トシ內席上課程ヲ二年實習ヲ一年トス

第四條 學生ハ席上課程修業中ハ總テ本所內寄宿舍ニ居住スベキモノトス

第五條 本規則ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ所長之ヲ定ム

第二章 教科目及實習

第六條 各科ノ席上課程教科目左ノ如シ

航 運 科

一 學科目

修身學

語學

數學

地理學

物理學

化學學

航海學

航法學

機關學

造船學

氣象學

河川工學

法學

船舶衛生

規

二 術科目

技業

體操

軍事教練

機關科

一 學科目

修身學 語學 數學 地理學 物理學 化學 力學 機械學 電氣學 造船學 法醫學 船舶衛生

二 術科目
機關設計及製圖
技業
體操
軍事教練

前項之教授科目遇必要時得由所長增減之

第七條 各科之實習種目及其期間如左

航運科 一年
汽船實習
機關科
工場實習 約半年
汽船實習 約半年

第三章 學年、學期及休業

第八條 學年自四月一日起至翌年三月三十一日止學年分左列二學期

第一學期 自四月一日起至十月三十一日止
第二學期 自十一月一日起至翌年三月三十一日止

第九條 放假日如左但在實習中之學生依船舶或工場之規定

一 左列祭日

祈穀祭
建國忠靈廟春祭
建國忠靈廟秋祭
嘗新祭

二 左列節祀日

春 節
元 宵 節
春丁祀孔
端午節
中 秋 節
秋丁祀孔

三 一月二日、三日及十二月二十九日、三十日、三十一日

四 合於陰曆正月二日及十二月末日之陽曆日

五 星期日

六 夏季放假日 自七月二十一日起至八月四日止

七 冬季放假日 自十二月二十五日起至翌年一月十五日止

第十條 式日爲元旦、萬壽節、紀元節、建國節、天長節、訪日宣詔紀念日、建國神廟創建紀念日、入學日、畢業日及開所紀念日

式日嚴肅舉行左列式典

一 元旦及建國節

(一) 全體敬禮

(二) 全體齊唱國歌

(三) 全體齊唱日本國歌

(四) 全體向宮城方向遙拜

(五) 所長於全體敬禮中開 御容之 帷幕

(六) 全體向 御容行最敬禮

(七) 所長捧讀國本奠定詔書

(八) 所長於全體敬禮中開 御容之

修身學 語學 數學 地理學 物理學 化學 力學 機械學 電氣學 造船學 法醫學 船舶衛生

二 術科目
機關設計及製圖
技業
體操
軍事教練

前項ノ教科目ハ必要ニ應ジ所長之ヲ增減スルコトアルベシ

第七條 各科ノ實習ノ種目及其ノ期間左ノ如シ

航運科 一年
汽船實習
機關科
工場實習 約半年
汽船實習 約半年

第三章 學年、學期及休業

第八條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ヲ以テ終ル學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期 四月一日ヨリ十月三十一日迄
第二學期 十一月一日ヨリ翌年三月三十一日迄

第九條 休業日左ノ如シ但シ實習中ノ學生ニ在リテハ船舶又ハ工場ノ規定ニ依ル

一 左ノ祭日

祈穀祭
建國忠靈廟春祭
建國忠靈廟秋祭
嘗新祭

二 左ノ節祀日

春 節
元 宵 節
春丁祀孔
端午節
中 秋 節
秋丁祀孔

三 一月二日、三日及十二月二十九日、三十日、三十一日

四 陰曆正月二日及十二月末日ニ相當スル陽曆ノ日

五 日曜日

六 夏季休業日 七月二十一日ヨリ八月四日迄

七 冬季休業日 十二月二十五日ヨリ翌年一月十五日迄

第十條 元旦、萬壽節、紀元節、建國節、天長節、訪日宣詔紀念日、建國神廟創建紀念日、入學日、卒業日及開所紀念日ヲ式日トス

式日ニハ嚴肅ニ左ノ式ヲ行フ

一 元旦及建國節

(一) 一同敬禮ス

(二) 一同國歌ヲ齊唱ス

(三) 一同日本國歌ヲ齊唱ス

(四) 一同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス

(五) 所長ハ一同ノ敬禮裡ニ御容ノ扉ヲ開ク

(六) 一同御容ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ

(七) 所長ハ國本奠定ノ詔書ヲ奉讀ス

(八) 所長ハ一同敬禮裡ニ御容ノ扉

帷幕

- (九) 所長致合於式日之訓話
- (十) 全體齊唱合於式日之歌
- (十一) 全體敬禮

二 萬壽節

- (一) 全體敬禮
- (二) 全體齊唱國歌
- (三) 所長於全體敬禮中開 御容之

帷幕

- (四) 全體向 御容行最敬禮
- (五) 所長捧讀國本奠定詔書

- (六) 所長於全體敬禮中閉 御容之

帷幕

- (七) 所長致合於式日之訓話
- (八) 全體齊唱合於式日之歌
- (九) 全體敬禮

三 紀元節及天皇節

- (一) 全體敬禮
- (二) 全體齊唱日本國歌
- (三) 全體齊唱國歌
- (四) 全體向宮城方向遙拜

- (五) 全體向帝宮方向遙拜

- (六) 所長捧讀國本奠定詔書

- (七) 所長致合於式日之訓話

- (八) 全體齊唱合於式日之歌

四 訪日宣詔紀念日

- (一) 全體敬禮
- (二) 全體齊唱國歌
- (三) 全體齊唱日本國歌
- (四) 全體向宮城方向遙拜

- (五) 所長於全體敬禮中開 御容之

帷幕

- (六) 全體向 御容行最敬禮
- (七) 所長捧讀回鑾訓民詔書
- (八) 所長於全體敬禮中閉 御容之

帷幕

- (九) 所長致合於式日之訓話
- (十) 全體齊唱詔書奉答之歌
- (十一) 全體敬禮

五 建國神廟創建紀念日

- (一) 全體敬禮
- (二) 全體齊唱國歌
- (三) 全體齊唱日本國歌
- (四) 全體向宮城方向遙拜

- (五) 全體向建國神廟方向遙拜

- (六) 所長於全體敬禮中開 御容之

帷幕

- (七) 全體向 御容行最敬禮
- (八) 所長捧讀國本奠定詔書
- (九) 所長於全體敬禮中閉 御容之

帷幕

- (十) 所長致合於式日之訓話
- (十一) 全體齊唱詔書奉答之歌
- (十二) 全體敬禮

六 入學日、畢業日及開所紀念日

- (一) 全體敬禮
- (二) 全體齊唱國歌
- (三) 所長捧讀國本奠定詔書

- (四) 所長致合於式日之訓話
- (五) 全體齊唱合於式日之歌
- (六) 全體敬禮

除前列各款外第四款以下得增加所長認為必要之式次

- 第四章 入學、在學及退學

ヲ閉ツ

- (九) 所長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
- (十) 一同式日相當ノ歌ヲ齊唱ス
- (十一) 一同敬禮ス

二 萬壽節

- (一) 一同敬禮ス
- (二) 一同國歌ヲ齊唱ス
- (三) 所長ハ一同敬禮裡ニ御容ノ扉ヲ開ク
- (四) 一同御容ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ

- (五) 所長ハ國本奠定ノ詔書ヲ奉讀ス
- (六) 所長ハ一同ノ敬禮裡ニ御容ノ扉ヲ閉ツ

- (七) 所長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
- (八) 一同式日相當ノ歌ヲ齊唱ス
- (九) 一同敬禮ス

三 紀元節及天皇節

- (一) 一同敬禮ス
- (二) 一同日本國歌ヲ齊唱ス
- (三) 一同國歌ヲ齊唱ス
- (四) 一同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス
- (五) 一同帝宮ノ方向ニ向ツテ遙拜ス

- (六) 所長ハ國本奠定ノ詔書ヲ奉讀ス
- (七) 所長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
- (八) 一同式日相當ノ歌ヲ齊唱ス
- (九) 一同敬禮ス

- (十) 所長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
- (十一) 一同詔書奉答ノ歌ヲ齊唱ス
- (十二) 一同敬禮ス

四 訪日宣詔紀念日

- (一) 一同敬禮ス
- (二) 一同國歌ヲ齊唱ス
- (三) 一同日本國歌ヲ齊唱ス
- (四) 一同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス
- (五) 所長ハ一同ノ敬禮裡ニ御容ノ

扉ヲ開ク

- (六) 一同御容ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ
- (七) 所長ハ回鑾訓民詔書ヲ奉讀ス
- (八) 所長ハ一同ノ敬禮裡ニ御容ノ扉ヲ閉ツ
- (九) 所長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
- (十) 一同詔書奉答ノ歌ヲ齊唱ス
- (十一) 一同敬禮ス

五 建國神廟創建紀念日

- (一) 一同敬禮ス
- (二) 一同國歌ヲ齊唱ス
- (三) 一同日本國歌ヲ齊唱ス
- (四) 一同宮城ノ方向ニ向ツテ遙拜ス
- (五) 一同建國神廟ノ方向ニ向ツテ遙拜ス

- (六) 所長ハ一同ノ敬禮裡ニ御容ノ扉ヲ開ク
- (七) 一同御容ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ
- (八) 所長ハ國本奠定ノ詔書ヲ奉讀ス
- (九) 所長ハ一同ノ敬禮裡ニ御容ノ扉ヲ閉ツ

- (十) 所長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
- (十一) 一同詔書奉答ノ歌ヲ齊唱ス
- (十二) 一同敬禮ス

六 入學日、卒業日及開所紀念日

- (一) 一同敬禮ス
- (二) 一同國歌ヲ齊唱ス
- (三) 所長ハ國本奠定ノ詔書ヲ奉讀ス
- (四) 所長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
- (五) 一同式日相當ノ歌ヲ齊唱ス
- (六) 一同敬禮ス

- (七) 所長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
- (八) 一同詔書奉答ノ歌ヲ齊唱ス
- (九) 一同敬禮ス

- (十) 所長ハ式日相當ノ訓話ヲ爲ス
- (十一) 一同詔書奉答ノ歌ヲ齊唱ス
- (十二) 一同敬禮ス

前各號ノ外第四號以下ニ於テ所長ノ必要ト認ムル式次ヲ加フルコトヲ得

- 第四章 入學、在學及退學

第十一條 入學爲學年開始日期但依特別情事得許可臨時入學

第十二條 入學依入學試驗之結果由所長許可之

入學試驗每年一月中施行之但遇有必要時得變更其時期

第十三條 得受入學試驗者須適合左列各款

- 一 國民高等學校畢業者或有同等以上之學力者
- 二 身體強健者
- 三 品行方正身家確實者
- 四 於入學期年齡在十六歲以上未滿二十一歲之男子

第十四條 入學試驗爲身體檢查、學術試驗及口試對於學術試驗就左列科目行之但遇必要時得增加其他科目

語學

第十五條 入學試驗於本所及其他認爲適當地方舉行之

第十六條 入學志願者須於入學志願書(第一號樣式)添附左列書類及像片向該所長提出

- 一 履歷書(第二號樣式)
- 二 身分證明書(第三號樣式)
- 三 在國民高等學校畢業者畢業成績證明書在其他者證明其學力之書類(第四號樣式)
- 四 像片(報名前六箇月以內所照之半身脫帽四寸像片)

第十七條 經許可入學者有左列各款情形之一時得取消其許可

一 於指定入學日無故不到校時

二 因疾病或其他之事由自指定入學日起二十日以內不到校時

三 其他於修業上認爲有障礙時

第十八條 經許可入學者應於指定入學日以前將誓約書(第五號樣式)向該所長提出

第十九條 誓約書中之保證人須爲本人之父兄或其他近親者二人對於負擔學生在學中之一切責任固勿論更須具備左列條件

- 一 年齡二十歲以上之男子
- 二 居住滿洲國內營獨立之生計而身家確實者
- 三 保證人中之一人須在哈爾濱市內或其附近居住者但不得已時不在此限

保證人死亡或其資格喪失時須另行提出具備前項條件之新保證人

第二十條 所長認爲保證人不適當時得令其更換

第二十一條 保證人之轉籍、轉居、改姓、改名或改印章時須即將其意旨向該所長呈報

第二十二條 學生轉籍、改姓、改名或改印章時須即將其意旨向該所長呈報

第二十三條 學生不得請求退學但認爲有不得已情事時所長得許可之

第二十四條 所長對於有左列各款情形之一者命其退學

- 一 品行或思想不良而認爲無改悛之希望者

第十一條 入學ハ學年ノ始トス但シ特別ノ事情ニ依リ臨時入學ヲ許可スルコトヲ得

第十二條 入學ハ入學試驗ノ結果ニ依リ所長之ヲ許可ス

入學試驗ハ毎年一月中ニ之ヲ行フ但シ必要ニ應ジ其ノ期日ヲ變更スルコトアルベシ

第十三條 入學試驗ヲ受クルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ニ該當スルコトヲ要ス

- 一 國民高等學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者
- 二 身體強健ナル者
- 三 品行方正ニシテ身元確實ナル者
- 四 入學期ニ於テ年齡十五年以上二十一年未滿ノ男子

第十四條 入學試驗ハ體格檢查、學術試驗及口頭試問トシ學術試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ但シ必要ニ應ジ他ノ科目ヲ加フルコトアルベシ

語學

第十五條 入學試驗ハ本所其ノ他適當ト認ムル地ニ於テ之ヲ行フ

第十六條 入學志願者ハ入學志願書(第一號樣式)ニ左ノ書類及寫眞ヲ添ヘ本所長ニ提出スベシ

- 一 履歷書(第二號樣式)
- 二 身分證明書(第三號樣式)
- 三 國民高等學校卒業者ニ在リテハ學業成績證明書其ノ他ノ者ニ在リテハ其ノ學力ヲ證明スル書類(第四號樣式)
- 四 寫眞(半身脫帽手札形トシ出願前六月以內ニ撮影シタルモノ)

第十七條 入學ヲ許可セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

一 故ナクシテ入學指定日ニ出頭セザルトキ

二 疾病其ノ他ノ事由ニ因リ入學指定日ヨリ二十日以內ニ出頭セザルトキ

三 其ノ他修業上支障アリト認メタルトキ

第十八條 入學ヲ許可セラレタル者ハ入學指定日迄ニ誓約書(第五號樣式)ヲ本所長ニ提出スベシ

第十九條 誓約書ニ要スル保證人ハ父兄其ノ他近親ノ者二名ニシテ學生在學中ニ係ル一切ニ付其ノ責ニ任ジ得ルハ勿論更ニ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス

- 一 年齡二十年以上ノ男子
- 二 滿洲國內ニ居住シ獨立ノ生計ヲ營ミ身元確實ナル者
- 三 保證人中ノ一名ハ哈爾濱市又ハ其ノ附近ニ居住スル者但シ已ムヲ得ザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

保證人死亡シ又ハ其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ新ニ前項ノ條件ヲ具備スル保證人ヲ立ツルコトヲ要ス

第二十條 所長ニ於テ保證人ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ變更セシムルコトヲ得

第二十一條 保證人轉籍、轉居、改姓、改名又ハ改印シタルトキハ直ニ其ノ旨本所長ニ届出ツベシ

第二十二條 學生轉籍、改姓、改名又ハ改印シタルトキハ直ニ其ノ旨本所長ニ届出ツベシ

第二十三條 學生ハ請願ニヨリ退學スルコトヲ得ズ但シ事情已ムヲ得ザルモノト認メタル場合ハ所長之ヲ許可スルコトアルベシ

第二十四條 所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ズ

- 一 性行又ハ思想不良ニシテ改悛ノ見

望者

二 學力劣等、身體虛弱或意志薄弱等
認爲無造就之希望者

三 無正當事由繼續曠課一箇月以上者

四 玩忽學費及其他交納金繳納之義務者

第五章 考試之成績、進級及畢業

第二十五條 教室課程之成績考査平素之成績及考試之成績定之
實習之成績考査其修業之成績及報告書定之

第二十六條 學期成績以教室課程之成績無實習之成績之平均定之但無實習者以教室課程之成績定之

第二十七條 學年成績以學期成績之平均定之並決定其合格與否其不合格者仍令其修學原學年之課程

第二十八條 畢業考試就教授科目中認爲有必要者施行之畢業成績以畢業考試之成績與各學年之成績之平均定之並決定其合格與否對合格者授與畢業證書(第六號樣式)

第二十九條 因不得已之事由考試缺席者呈請補考時得許可之

第六章 賞 罰

第三十條 品行方正且學業成績優秀堪爲他人之模範者表彰之

第三十一條 所長對學生得行左列之懲戒

- 一 訓 戒
- 二 謹 愼

三 開 除

第七章 學 費

第三十二條 學費係指所定之被服、膳費、學用品及旅費等而言學費其一部或全部得貸與或給與之

第三十三條 不合格者在迄於原學年之課程修了止其學費之一部或全部停止貸與或給與

第三十四條 學生於修業上受傷或罹疾病時以官費治療之

第三十五條 本所不徵收授業費

第八章 制 服

第三十六條 學生不得着用所定制服以外之服裝但實習中不在此限

第三十七條 制服、分科章、學年章及表彰章如另表但遇有必要時得由所長變更之

第三十八條 依第三十條之規定受表彰者將表彰章佩帶於制服及夏服之右襟分科章之右側

第三十九條 本所徽章規定如左

章 徽



附 則

本令自公布日施行
交通部船員養成所規則廢止之

込ナント認メタル者

二 學力劣等、身體虛弱又ハ意志薄弱等ニヨリ成業ノ見込ナント認メタル者

三 正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

四 學費其ノ他納金納付ノ義務ヲ怠リタル者

第五章 試驗ノ成績、進級及卒業

第二十五條 席上課程ノ成績ハ平素ノ成績及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ム
實習ノ成績ハ修業ノ成績及報告書ヲ考査シテ之ヲ定ム

第二十六條 學期成績ハ席上課程ノ成績ニ實習ノ成績ヲ併合シテ之ヲ定ム但シ實習ナキモノニ在リテハ席上課程ノ成績ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 學年成績ハ學期成績ヲ併合シテ之ヲ定メ合格ヲ決定ス合格セザル者ニハ更ニ原學年ノ課程ヲ修學セシム

第二十八條 卒業試驗ハ教科目中必要ト認ムルモノニ付施行ス卒業成績ハ卒業試驗ノ成績ニ各學年成績ヲ併合シテ之ヲ定メ合格ヲ決定ス
合格者ニハ卒業證書(第六號書式)ヲ授與ス

第二十九條 已ムヲ得ザル事由ニ因リ試驗ニ缺席シタル者追試驗ヲ受ケンコトヲ願出ヅルトキハ之ヲ許可スルコトアルベシ

第六章 賞 罰

第三十條 品行方正且學業成績優秀ニシテ他ノ模範タルベキ者ハ之ヲ表彰ス

第三十一條 所長ハ學生ニ對シ左ノ懲戒ヲ行フコトヲ得

- 一 訓 戒
- 二 謹 愼

三 除 名

第七章 學 費

第三十二條 學費トハ所定ノ被服、食料、學用品及旅費ヲ謂フ學費ハ其ノ一部若ハ全部ヲ貸與シ又ハ給與スルコトアルベシ

第三十三條 合格セザル者ハ更ニ原學年ノ課程ヲ修了スル迄學費ノ一部若ハ全部ノ貸與又ハ給與ヲ停止ス

第三十四條 學生修業上受傷或罹疾病ニ罹リタルトキハ官費ヲ以テ治療セシムルコトアルベシ

第三十五條 本所ニ於テハ授業料ヲ徵收セズ

第八章 制 服

第三十六條 學生ハ所定ノ制服以外ノモノヲ著出スルコトヲ得ズ但シ實習中ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十七條 制服、分科章、學年章及表彰章ハ別表ノ如シ但シ必要ニ應ジ所長之ヲ變更スルコトヲ得

第三十八條 第三十條ノ規定ニ依リ表彰セラレタル者ニハ正服及夏服ノ右襟分科章ノ右側ニ表彰章ヲ附セシム

第三十九條 本所徽章ハ左ノ如ク定ム

章 徽



附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
交通部船員養成所規則ハ之ヲ廢止ス

別表一

品名	地質	樣式	袖章	領章	前章	制服		夏服	帽		外套	雨衣
						制	服		防寒帽	制帽		
藏青色 嗶嘰	上身為折領前鈕一行五箇左右上下部各附有第一圖(第一圖)	三箇	六箇袖口約衣領之前面	側附學年章		白葛絨織	上身爲羊形形緊領前鈕一行五箇左右上下部各附有第一圖(第一圖)	黑色呢	兜型面爲黑色呢裏爲羊毛皮當中釘帽徽章(第四圖)	藏青色 呢毛皮領	呢毛皮	黑色 橡皮絨
						同	同	同	同			
						同	同	同	同			
						同	同	同	同			
						同	同	同	同			

別表二

章別	用別	領章	品質	備考	分科章		學年章			表彰章
					航運科	機關科	第一學年	第二學年	第三學年	
	航	航空	金色金屬		航運科	機關科	I	II	III	同右
							同右	同右	同右	同右
							同右	同右	同右	同右
							同右	同右	同右	同右
							同右	同右	同右	同右

別表一

品名	地質	制式	袖章	襟章	前章	正服		夏服	帽		外套	雨衣
						正	服		防寒帽	正帽		
紺サージ	上ハ折襟胸鈕五箇一行左右上下部各一箇ノ背ニ付ス(第一圖)	三箇	上方六箇ノ表ニ分科章ヲ左	側ニ學年章ヲ左		白葛絨織	上衣ハ背廣形緊襟胸鈕五箇一行左右上下部各一箇ノ制(第二圖)	黑羅紗	兜型表裏羅紗裏羊毛中央ニ襟章ヲ付ス(第四圖)	紐羅紗	紐羅紗	黑色 敷織子
						同	同	同	同			
						同	同	同	同			
						同	同	同	同			
						同	同	同	同			

別表二

章別	用別	襟章	品質	備考	分科章		學生章			表彰章
					航運科	機關科	第一學年	第二學年	第三學年	
	航	航空	金色金屬		航運科	機關科	I	II	III	同右
							同右	同右	同右	同右
							同右	同右	同右	同右
							同右	同右	同右	同右
							同右	同右	同右	同右

第一號樣式

入學志願書

竊擬入交通部高等船員養成所某科肄業理合具文呈請
鑒核謹呈

交通部高等船員養成所長 公鑒

原籍

現住所

職業

年 月 日

姓名

一 受通知之地點

二 希望受驗地

第二號樣式

履歷書

姓名	生年月日	年	月	日生
	年	年	月	日
家長姓名	與家長之關係	家長之職業		
	現住所			
學歷及職歷	年	年	年	年
	月	月	月	月
	日	日	日	日
	年	年	年	年
	月	月	月	月
日	日	日	日	日
年	年	年	年	年
月	月	月	月	月
日	日	日	日	日
姓	名			

第一號書式

入學志願書

交通部高等船員養成所何科へ入學致度ニ付此段及御願出候也

原籍

現住所

職業

年 月 日

姓名

交通部高等船員養成所長 殿

一 通知ヲ受クベキ場所

二 希望受驗地

第二號書式

履歷書

氏名	生年月日	年	月	日生
	年	年	月	日
家長氏名	家長トノ關係	家長ノ職業		
	現住所			
學歷及職歷	年	年	年	年
	月	月	月	月
	日	日	日	日
	年	年	年	年
	月	月	月	月
日	日	日	日	日
年	年	年	年	年
月	月	月	月	月
日	日	日	日	日
氏	名			

第三號樣式

身分證明書			
原籍	家長姓名	現住所	家長之職業
姓名	家長負擔之能力	生年 月 日	家長之職業
職業	家長負擔之能力	生年 月 日	家長之職業
略	家長之財產概要	生年 月 日	家長之職業
賞罰	特記事項	生年 月 日	家長之職業

之身分ヲ調査後與右開無訛特此證明

年 月 日

證明官 警察署長 姓名

第四號樣式

學業成績證明書						
考人物 右成績證明無訛	學年	學年	學年	學年	學科別	總平均 總次數
	第 一 學年	第 二 學年	第 三 學年	第 四 學年		
	第 一 學年	第 二 學年	第 三 學年	第 四 學年		
	第 一 學年	第 二 學年	第 三 學年	第 四 學年		
	第 一 學年	第 二 學年	第 三 學年	第 四 學年		
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

學校長 姓名

年 月 日

姓名

第三號書式

身分證明書			
原籍	家長姓名	現住所	家長之職業
姓名	家長負擔之能力	生年 月 日	家長之職業
職業	家長負擔之能力	生年 月 日	家長之職業
略	家長之財產概要	生年 月 日	家長之職業
賞罰	特記事項	生年 月 日	家長之職業

ノ身分ヲ調査ノ處右ノ通相違無之此段證明候也

年 月 日

證明官 警察署長 姓名

第四號書式

學業成績證明書						
考人物 右證明ス	學年	學年	學年	學年	學科別	總平均 總次數
	第 一 學年	第 二 學年	第 三 學年	第 四 學年		
	第 一 學年	第 二 學年	第 三 學年	第 四 學年		
	第 一 學年	第 二 學年	第 三 學年	第 四 學年		
	第 一 學年	第 二 學年	第 三 學年	第 四 學年		
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日

學校長 姓名

年 月 日

姓名

第五號樣式

誓約書

出具誓約書人

今蒙交通部高等船員養成所許可入某科肄業在學中情願遵守規則服從命令專心向學倘因事中途曠學或被開除時對於在學中所給與之諸費用之總還以及本人身上一切問題願與保證人以連帶關係任其責理合會同保證人連署具此誓約謹呈

交通部高等船員養成所長 公鑒

年 月 日

本人

現住所籍

姓

年 月

日 生

名

保證人

現住所籍

姓

年 月

日 生

名

保證人

現住所籍

姓

年 月

日 生

名

第六號樣式

畢業證書

原籍

姓

年 月

日 生

名

像片

交通部高等

船員養成所長

右者於交通部高等船員養成所某科肄業期滿考查成績及格此證

年 月 日

交通部高等船員養成所長

姓

名

印

第五號樣式

誓約書

出具誓約書人

今蒙交通部高等船員養成所何科學生トシテ入學許可セラレ候ニ就テハ御規則命令ヲ確ク相守リ在學中ハ專心勉勵可致退學又ハ除名ハ勿論退學ヲ許可セラレタル場合ト雖モ才元保證人連署ヲ以テ在學中給與セラレタル諸費用返還其ノ他本人ノ身上ニ係ル一切ニ關シ其ノ責ニ任スベク候仍テ保證人連署ノ上此段誓約仕候也

年 月 日

本人

現住所籍

氏

年 月

日 生

名

保證人

現住所籍

氏

年 月

日 生

名

保證人

現住所籍

氏

年 月

日 生

名

第六號樣式

卒業證書

原籍

氏

年 月

日 生

名

寫眞

交通部高等

船員養成所長

右ノ者交通部高等船員養成所何科ノ課程ヲ修メ其ノ業ヲ卒ヘタルコトヲ證ス

年 月 日

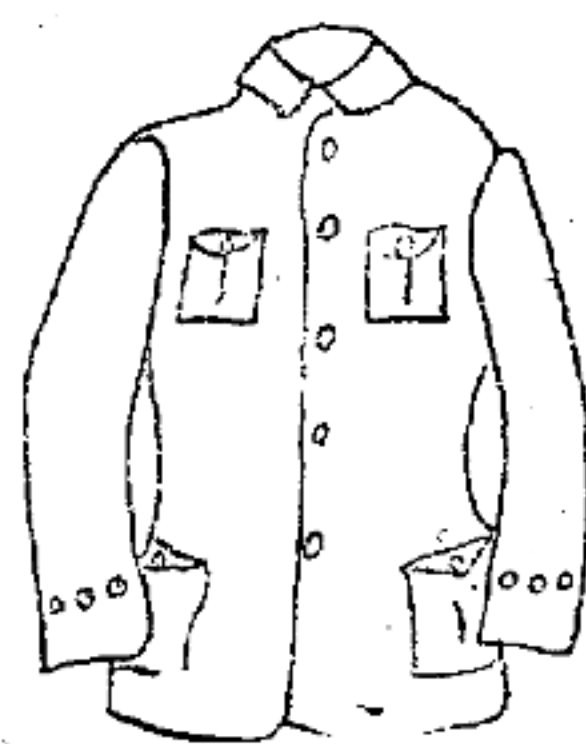
交通部高等船員養成所長

氏

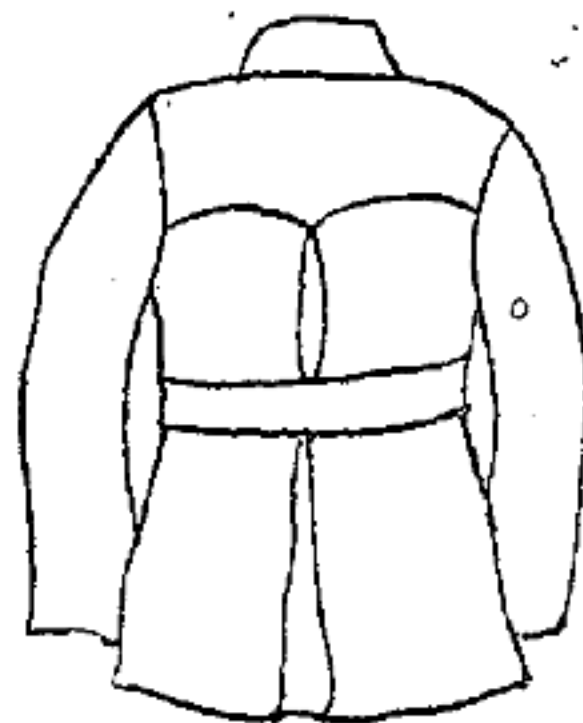
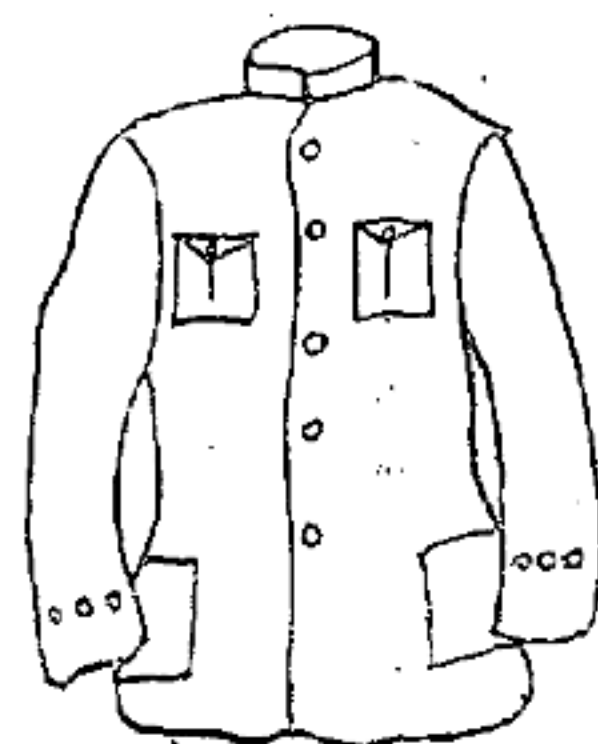
名

印

圖一第



圖二第 (衣夏服正)



圖四第



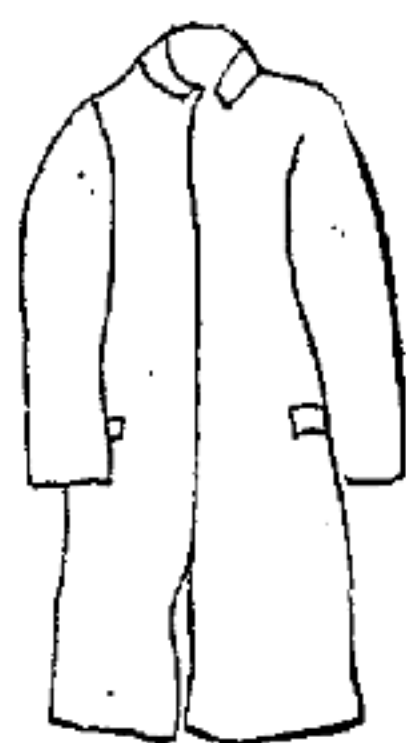
圖三第



圖五第



圖六第



省 令

濱江省令第十九號

茲將省官制第四條所定之省長權限之一部委任於市、縣、旗長之件制定如左

康德八年十月二十八日

濱江省長 于 鏡 濤

省官制第四條所定之省長權限之一部委任於市、縣、旗長之件

第一條 關於左列者之任免、進退、賞罰之一切專行權限委任於市、縣、旗長

一 市、縣、旗費開支之滿系委任行政官、委任技術官及委任官試補(除警察官)

二 於市、縣、旗勤務之滿系警尉補以下之警察官

三 有初等學校第三種許可狀之教諭及教導

第二條 關於對前條各款所定者以外之

省 令

濱江省令第十九號

茲將省官制第四條所定之省長權限之一部委任於市、縣、旗長之件制定如左

康德八年十月二十八日

濱江省長 于 鏡 濤

省官制第四條所定之省長權限之一部委任於市、縣、旗長之件

第一條 左ニ掲グル者ニ關スル任免、進退、賞罰ノ一切ノ專行權限ハ之ヲ市、縣、旗長ニ委任ス

一 市、縣、旗費支辨ノ滿系委任行政官、委任技術官及委任官試補(警察官ヲ除ク)

二 市、縣、旗ニ勤務スル滿系警尉補以下ノ警察官

三 初等學校ニ於ケル第三種免許狀ヲ有スル教諭及教導

第二條 前條各號ニ定ムル者以外ノ市、

市、縣、旗所屬委任官及委任官試補之申戒及謹慎之權限如左委任於市、縣、旗長

一 關於申戒由市、縣、旗長專行之
二 關於謹慎經省長之承認由市、縣、旗長行之
附則
本令自康德八年九月一日施行

四平省令第八號
茲將家畜省外移出取締規則制定如左

康德八年十月二十九日
四平省長 徐 家 桓

家畜省外移出取締規則

第一條 本令所稱之家畜係指牛、馬、騾、驢、綿羊、山羊及豬而言

第二條 除左列之情形外不得將家畜移出

- 一 國有或省有者而由國及省移出時
- 二 因特別事由已受省長之許可時

第三條 擬受前條第二款之許可者應將填具左列事項之許可呈請書經由該管市、縣、長向省長提出之

- 一 呈請人住所姓名及商號

敘賜、任免及指敘

休職首都警察廳警佐 本田 末男

任總務廳事務官敘薦任三等

康德八年九月十七日

哈爾濱工業大學助教授 萬 希 章

任哈爾濱工業大學教授敘薦任二等

康德八年十月二十一日

- 二 收領人住所姓名及商號
- 三 畜別及性別頭數
- 四 現在飼育地
- 五 移出方法
- 六 移出地
- 七 移往地
- 八 移出日期
- 九 畜別價格及支付方法
- 十 移出家畜之用途
- 十一 其他必要之事項

第四條 違反前條之規定者處三百圓以下之罰金或拘留或科料

附則
本令自公布日施行

佈告

鐵道警護總隊佈告第三二號

為佈告事查前以康德八年鐵道警護總隊佈告第一二號及第二二號限制左開各站之乘車一事(包含禁止獸類、生獸皮、舊綿、襪襪類、牧草之託送、輸送及其辦理)茲以康德八年十月三十一日為限逾期即行廢止特此佈告此佈

康德八年十月三十日

鐵道警護總隊總監 藤井 貫一
計開
一 京白線 七家子、前郭旗、木頭、新廟、八狼各站

任公立國民高等學校教諭敘薦任二等

康德八年十月三十日

林野局技佐兼營林署長 伊東 弘

任省技佐敘薦任二等

林野局技佐 三枝 一二

任省技佐敘薦任三等

康德八年十一月一日

縣、旗所屬委任官及委任官試補ニ對スル申戒及謹慎ニ關スル權限ハ左ノ通之ヲ市、縣、旗長ニ委任ス

一 申戒ニ付テハ市、縣、旗長之ヲ專行ス
二 謹慎ニ付テハ省長ノ承認ヲ經テ市、縣、旗長之ヲ行フ
附則
本令ハ康德八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

四平省令第八號
茲ニ家畜省外移出取締規則ヲ左ノ通制定ス

康德八年十月二十九日
四平省長 徐 家 桓

家畜省外移出取締規則

第一條 本令ニ於テ家畜ト稱スルハ牛、馬、騾、驢、綿羊、山羊及豚ヲ謂フ

第二條 家畜ハ左ノ場合ヲ除クノ外省外ニ移出スルコトヲ得ズ

- 一 國有又ハ省有ノモノニシテ國及省ガ移出スルトキ
- 二 特別ノ事由ニ因リ省長ノ許可ヲ受ケタルトキ

第三條 前條第二款ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左記事項ヲ記載セル許可申請書ヲ當該市、縣長ヲ經由シ省長ニ提出ス

- 一 申請人ノ住所氏名及商號

任總務廳調查官 小野 藤雄

康德八年十一月四日

稅關署官 長濱 邦雄

任稅關事務官敘薦任三等

康德八年十一月十四日

縣事務官 劉 慶 陞
旗事務官 川島 馨

- 二 受取人ノ住所氏名及商號
- 三 畜別及性別頭數
- 四 現在飼育場所
- 五 移出方法
- 六 仕出地
- 七 仕出時期
- 八 移出時期
- 九 畜別代價支拂方法
- 十 移出家畜ノ用途
- 十一 其ノ他必要ナル事項

第四條 前條ノ規定ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

佈告

鐵道警護總隊佈告第三二號

康德八年鐵道警護總隊佈告第一二及第二二號ニ依ル左記各驛ノ乘車制限(生獸、生獸皮、古綿、襪襪類、牧草ノ託送、輸送及其ノ取扱禁止ヲ含ム)ハ康德八年十月三十一日限り之ヲ廢止ス

康德八年十月三十日

鐵道警護總隊總監 藤井 貫一
記
一 京白線 七家子、前郭旗、木頭、新廟、八狼各驛

任總務廳事務官敘薦任三等

外務局理事官 吉津 清

任外務局參事官敘薦任一等

外務局參事官 吉津 清

兼任外務局理事官敘薦任一等

外務局理事官 佐藤 三郎
任外務局理事官敘薦任三等

外務局屬官 橋坂 守

任外務局事務官敘薦任三等 省理事官 紀內 芳夫	任勞務管理官敘薦任一等 山本 勝光	任開拓醫學院助教授敘薦任三等 公立女子國民 水戶 秀郎 高等學校教諭	任師道學校教諭敘薦任三等 公立國民高等學校教諭 鍾 國 璋 公立國民高等學校校長敘薦任三等	兼任司法部技佐敘薦任二等 興農部技佐 福島鶴太郎	兼任司法部技佐敘薦任三等 興農部技佐 松尾 廣實	兼任典獄 佐	任開拓總局事務官敘薦任三等 兼司法部事務官 國井 廣四	哈爾濱工業大學教授 今井 光雄	兼任開拓研究所副研究官敘薦任三等 中央農事訓練所教官 打越 龍雄	兼任林野局技佐敘薦任三等 林野局技佐 奧田 憲之	兼任中央農事訓練所教官敘薦任二等 旗參事官兼地政局事務官 瀨川 五郎	任省理事官敘薦任二等 省高等官試補 于 英	任省秘書官敘薦任三等 總務廳事務官兼省事務官 仲森 政郎	任省事務官敘薦任三等 公立國民高等學校校長 何 成 裕 同 劉 宗 基	同 濱崎 武士	同 省事務官兼縣事務官	同 任縣事務官敘薦任三等 民生部事務官 久保田完三	同 任旗參事官敘薦任二等 縣事務官 藤井 猗兒																		
任旗事務官敘薦任三等 總務廳參事官 甲斐 正治	任鞍山市行政處長敘薦任一等 省事務官 佐藤 市吉	任市事務官敘薦任三等 康德八年十一月十五日 郵政管理局高等官試補 興 景 白 任郵政局高等官試補 康德八年十月十四日 休職總務廳高等官試補 鶴藤 志美	任省高等官試補 康德八年十月二十六日 省高等官試補 馬場 海雄	任總務廳高等官試補 公立醫院高等官試補 曹 鳳 梧	兼任新京醫科大學高等官試補 康德八年十一月十五日 樺川縣委任官試補 雷 慶 麟	任樺川縣屬官 同 李 青 柏	同 富錦縣委任官試補 李 景 春	同 葛 曉 章	同 張 汝 翼	同 張 維 良	任富錦縣屬官 同 王 作 華	同 久保 清	同 王 安 全	同 梁 振 鐸	同 葛 慶 國	任依蘭縣屬官 同 楊 化 民	同 林 育 華	同 蘇 存 偉	同 洪 存 陽	同 王 惠 民	同 郎 果 助	同 姜 鴻 祥														
任通河縣屬官 鶴立縣委任官試補 郭 精 一	同 王 煥 文	任鶴立縣屬官 綏濱縣委任官試補 郭 銘 章	同 郭 銘 章	同 趙 國 光	同 劉 金 城	同 張 文 翰	同 蔣 德 寬	同 姚 文 翰	同 劉 世 五	任綏濱縣屬官 同 閻 瑞 林	同 張 同 鈞	同 趙 乘 甫	任同江縣屬官 同 劉 維 曜	同 宣 維 德	同 王 景 元	同 張 魁 臣	同 朱 彥 倫	同 梁 樹 藩	同 馬 榮 陞	同 李 紹 庭	同 滕 仁 溥	任湯原縣屬官 同 張 子 洲	同 張 子 洲	任湯原縣屬官 同 于 寶 深	同 于 寶 深	任蘿北縣屬官 同 曹 利 元	同 曹 利 元	任撫遠縣屬官 同 張 信 一	同 張 信 一	任撫遠縣屬官 同 何 興 裕	同 何 興 裕	任通河縣屬官 同 櫻 田 年 弘	同 櫻 田 年 弘	任佳木斯市屬官 同 櫻 田 年 弘	同 櫻 田 年 弘	
任通河縣屬官 三江省委任官試補 長見 忠之	同 李 笑 波	任三江省屬官 康德八年六月一日 任省立勸業模範場技士 滕 德 光	同 滕 德 光	任鶴立縣技士 周 延 緒	同 周 延 緒	兼任同江縣技士 鶴立縣技士 周 延 緒	同 周 延 緒	同 周 延 緒	同 周 延 緒	同 周 延 緒	同 周 延 緒	同 周 延 緒	任佛山縣屬官 黑河省技士 小井戶和夫	同 小井戶和夫	任佛山縣技士 康德八年八月一日 總務廳屬官 智者 敏夫	同 智者 敏夫	同 孟 廣 義	同 郎 志 遠	同 楊 在 春	同 那 克 恭	同 張 友 春	同 郭 吉 春	同 劉 樹 森	同 薛 吉 春	同 金 世 珍	同 守 安 善 作	同 石 毛 春 司	任三江省屬官 四平省屬官 武田 新貝	同 武田 新貝	同 杜 桂 青	同 湯原縣屬官 郎 果 助	同 郎 果 助	同 通河縣屬官 王 惠 民	同 王 惠 民	任佳木斯市屬官 同 王 惠 民	同 王 惠 民

任湯原縣屬官 通河縣屬官 林育華 川崎正夫
任富錦縣屬官 綏濱縣屬官 張文翰 姚文翰 王宗理 趙德英 張鴻林
任方方正縣屬官 同 方正縣委任官試補 左慶餘 程萬鈞 李乘權
任方正縣屬官 同 方正縣委任官試補 洪存陽 長見忠之 張魁臣 劉世五 王雲階 山田竹一
任富錦縣屬官 綏濱縣屬官 張文翰 姚文翰 王宗理 趙德英 張鴻林
任富錦縣屬官 綏濱縣屬官 張文翰 姚文翰 王宗理 趙德英 張鴻林
任富錦縣屬官 綏濱縣屬官 張文翰 姚文翰 王宗理 趙德英 張鴻林

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

任富錦縣委任官試補 大井手初次 木網政雄 佐藤佐多義 曹鋼 十島滿之助 王樹衍 朱光宗 唐相武 張毓梁 須藤高明 岡崎國一 園山好郎 遠藤幸治 河野敏男 小泉鐵夫 野崎茂雄 澤田利男 林國磨 李存有 三木郁三 有澤直孝 越後谷喜久雄 高繼屏 程沛澗

派在總務處辦事 外務局理務官 佐藤 三郎 駐哈爾濱外務局特派員 荻野 義人 公署辦事外務局事務官 荻野 義人 派在政務處辦事 外務局事務官 橋坂 守 派在政務處兼駐哈爾濱外務局特派員公署辦事 政務處兼駐哈爾濱外務局特派員公署辦事外務局事務官 廣渡 繁男 辦事外務局事務官 廣渡 繁男 派在駐哈爾濱外務局特派員公署辦事 勞務管理官 紀內 芳天 派在勞務司辦事 勞務管理官 紀內 芳天 吉林省立醫院辦事 公立醫院事務官 渡部武五郎 派在遼陽市立醫院辦事 開拓醫學院助教 山本 勝光 派在齊齊哈爾開拓醫學院辦事 師道學校教諭 水戶 秀郎 派充齊齊哈爾師道學校副校長 鍾 國 璋 公立國民高等學校校長 鍾 國 璋 派充吉林省立舒蘭國民高等學校校長 福島鶴太郎 司法部技佐(兼) 松尾 廣實 同 派在行刑司辦事 開招總局事務官 國井 廣四 派在招墾處辦事 省理事官 瀨川 五郎 派在奉天省民生廳辦事 省秘書官 于 英 派在通化省長官房辦事 省事務官 仲森 政郎 派在牡丹江省長官房辦事 省事務官 仲森 政郎 派在梨樹縣辦事 縣事務官 劉宗 基	派在莊河縣辦事 同 派在寧安縣辦事 旗參事官 久保田完三 派在喀喇沁左旗參事官 旗事務官 藤井 猗兒 派在翁牛特左旗辦事 市事務官 佐藤 市吉 派在哈爾濱市行政處辦事 康德八年十一月十五日 郵政局高等官試補 興 景 白 派在牡丹江中央郵政局辦事 康德八年十月十四日 省高等官試補 鶴藤 志美 派在吉林省長官房辦事 康德八年十月二十六日 總務廳高等官試補 馬場 海雄 派在企畫處辦事 吉林省立醫院辦事 公立醫院高等官試補 長谷川敏郎 派在熱河省立醫院辦事 望奎縣辦事 高等官試補 八幡 喜六 派在綏化縣辦事 康德八年十一月十五日 三江省屬官 李 笑 波 同 蘇 文 煥 派在民生廳辦事 同 長見 忠之 派在省長官房辦事 康德八年六月一日 省立勸業模範場技士 藤 德 光 派在三江省立勸業模範場辦事 康德八年八月一日 三江省屬官 智者 敏夫 同 孟 廣 義 同 那 克 恭	派在省長官房辦事 同 派在民生廳辦事 同 派在開拓廳辦事 三江省屬官 須藤 高明 派在警務廳辦事 三江省技士 張 俊 儒 派在富錦縣管煙所辦事 管煙所屬官 越後谷喜久雄 派在湯原縣管煙所辦事 同 施 汝 霖 派在同江縣管煙所辦事 同 高 繼 昇 派在佳木斯女子國民高等學校辦事 公立國民高等學校教諭 程 沛 澍 派在佳木斯市傳染病院辦事 公立醫院看護婦長 高本 美子 康德八年九月一日 三江省屬官 錦戶 勝利 派在省長官房辦事 康德八年九月二十日 開拓總局技士 高田 安郎 派在土地處辦事 營林署技士 稻垣 主計 派在汪清營林署辦事 國立賽馬場屬官 安波 萬有 派在奉天國立賽馬場辦事 國立賽馬場屬官 安波 萬有 派在齊齊哈爾專賣署辦事 專賣署屬官 眞山 一雄	康德八年十月一日 稅務監督署屬官 北出 久一 派在奉天稅務監督署辦事 康德八年十月八日 吉林工程處辦事 力電氣建設局技士 小俣 義雄 派在渾江工程處辦事 康德八年十月十六日 通遼國立種馬場辦事 事國立種馬場技士 劉 英 士 派在海倫國立種馬場辦事 司稅 朱 瑞 武 派在西安稅捐局辦事 康德八年十月二十日 專賣署屬官 梶山 時夫 派在齊齊哈爾專賣署辦事 康德八年十月二十一日 開拓總局屬官 藤野 親義 派在招墾處辦事 同 光武 鎮男 派在土地處辦事 康德八年十一月一日 鏡泊湖工程處辦事 力電氣建設局屬官 越島 英二 派在總務處辦事 康德八年十一月五日 經濟部屬官 刈谷 一郎 同 朝倉 充 派在商務司辦事 康德八年十一月十一日 大臣官房辦事與農部屬官 飯野 薰 派在農產司兼大臣官房辦事 康德八年十一月十二日 總務廳事務官 本田 末男 依據文官令第一百十五條第一項第七款應即休職 康德八年九月十七日
---	--	--	---

外務局高等官試補 小坂五郎右二門
依據文官令第一百五條第一項第七款應即休職

康德八年十月十日

休職營林署技士 原博

依據文官令第一百五條第一項第六款應即繼續休職

康德八年六月十一日

應即復職 同 原博

康德八年九月十九日

營林局技士 遠藤貞門

同 關谷宗作

依據文官令第一百五條第一項第七款應即休職

康德八年十月八日

彙報

官署事項

○科長更動 康德八年十一月十五日更動科長如左

(總務廳人事處)

外務局總務處文書科長 吉津 清

外務局總務處文書科長

外務局理事官兼 竹之内安巳

外務局參事官 渡邊宗平

監督署事務官 禹澄

副市長兼鞍山市行政處長 禹澄

應即開去兼官

康德八年十一月十五日

休職總務廳事務官 本田末男

辭官照准

康德八年九月十八日

公立女子國民 太田穰

高等學校教諭 宮城文雄

辭官照准

康德八年十月三十一日

公立醫院醫官 李形惠

公立國民優級學校教諭 于文林

稅關事務官 長濱邦雄

辭官照准

康德八年十一月十五日

專賣署屬官 韓岡顯

辭官照准

康德八年八月二十日

同 王桂潤

辭官照准

康德八年九月六日

同 王德宜

辭官照准

康德八年九月二十日

專賣總局屬官 吉田穆

辭官照准

康德八年九月二十三日

司稅 李振才

辭官照准

康德八年十月十四日

同 岩本幸男

辭官照准

康德八年十月十五日

營林署技士 哈斯畢勒格

辭官照准

康德八年十月二十二日

同 司稅 吳廷賢

辭官照准

康德八年十月二十五日

開拓研究所屬官 秀島安弘

辭官照准

康德八年十一月一日

彙報

官署事項

○科長更動 康德八年十一月十五日附左ノ通科

長ノ異動アリタリ (總務廳人事處)

外務局總務處文書科長 吉津 清

外務局總務處文書科長

外務局理事官 佐藤 三郎

外務局政務處第五科長

(佳木斯專賣署收納科長)

專賣署事務官 長谷川文吉

專賣署事務官 長谷川文吉

兼佳木斯專賣署販賣科長

奉天省民生廳務科長

省理事官 瀨川 五郎

奉天省民生廳務科長

省理事官 瀨川 五郎

兼佳木斯專賣署販賣科長

奉天省民生廳務科長

省理事官 瀨川 五郎

兼佳木斯專賣署販賣科長

奉天省民生廳務科長

省理事官 瀨川 五郎

兼佳木斯專賣署販賣科長

奉天省民生廳務科長

省理事官 瀨川 五郎

兼佳木斯專賣署販賣科長

奉天省民生廳務科長

省理事官 瀨川 五郎

兼佳木斯專賣署販賣科長

奉天省民生廳務科長

省理事官 瀨川 五郎

觀象事項

○滿洲觀象日報 (中央觀象臺調查)

康德八年十一月十四日正午觀測成績

地名	項	氣溫(度)	降水量	天氣
延吉	(一)	一一	一一	快晴
敦化	(一)	一一	一一	快晴
四平	(一)	一一	一一	快晴
新京	(一)	一一	一一	快晴
四化	(一)	一一	一一	快晴
敦吉	(一)	一一	一一	快晴

公告

除權判決

四平市永樂區文化街一段門

牌二六二號

聲明人 王榮德

對於右聲明人所聲明之康德八年(黃)第二號除權判決如左

哈爾濱	九〇	快晴
開通	三〇	快晴
吐丹	七〇	快晴
綏芬河	六〇	快晴
東安	四〇	快晴
奉天	二〇	快晴
營口	三〇	快晴
錦州	二〇	快晴
阜寧	九〇	快晴
山海關	四〇	快晴

公告

除權判決

四平市永樂區文化街一段門

牌二六二號

申立人 王榮德

右申立人ノ申立ニ係ル康德八年(黃)第二號公

嫩江	五〇	快晴
黑龍	二〇	快晴
佳木斯	〇〇	快晴
富錦	一〇	快晴
大連	四〇	快晴

主 文
 宣示另紙目錄所載之證券為無效
理 由
 因右聲請人之聲請對於前記證券於康德八年三月二十四日業經公示催告在案但於所定之公示催告日期康德八年十月二十日午前十時以前對於右證券並無聲報其權利及提出證券者故基於右聲請人之聲請依公示催告手續法第九條第二十八條判決如主文
 康德八年十月二十日
 四平區法院 審判官 關文鍾

(另紙) 目錄
 證券之表示
 證券之種類 支票
 證券之號數 一三〇〇號
 票面金額 國幣壹千壹百五拾圓整
 發行年月日 康德七年十一月七日
 發行地 西安縣城街
 發行人 滿洲中央銀行西安支行
 經理 毛鳳鵬
 支 付 地 四平街市
 支 付 人 滿洲中央銀行四平街支行
 領收人之表示 無記名式憑票交付持券人
 北安省綏化縣綏化松不街五一號
 聲請人 合資會社山岸組
 右代表社員 山岸 宛作
 新東京特別市豐榮路五〇二號
 右代理人 高藤 常丸

關於右聲請人所聲請之康德八年(黃)第七號公示催告事件本院判決如左
主 文
 宣示左記證券為無效
 證券之表示(重要部分)
 有獎滿洲儲蓄債券 一百二十張
 額 面 十圓
 出售價格 七圓五角
 償還支拂價格 十圓
 證書回號並組號數 第六回內組自第四三七〇一號至第四三八〇〇號一百張

第七回內組自第一〇六五一號至第一〇六七〇號 二十張
 第六回者康德七年五月
 第七回者康德七年十二月
理 由
 對於主文揭載之證券業經公示催告在案但於其期日康德八年十月三十日以前並無聲報權利及提出該證券者故判決如主文
 康德八年十月三十日
 新東京區法院 審判官 山浦 重三

新東京特別市富士町二丁目四番地
 聲請人 田中 正信
 關於右聲請人所聲請之康德八年(黃)第四號公示催告事件本院判決如左
主 文
 宣示左記證券為無效
 證券之表示(重要部分)
 種 類 連帶提貨單
 號 數 一三〇三
 託運人之住所姓名 名古屋市西區本町一丁目二〇 株式會社愛知洋紙店
 受貨人之住所姓名 新東京特別市八島通二四番地 福昌公司
 運送品名及包裝 川表紙、草包
 數 一三〇箇
 欠 運 費 商船 二百一十二圓一角六分
 滿鐵 一百五十一圓二角
 運費支拂方法 商船發貨交付、滿鐵到貨交付
 運送方法 整車
 卸 貨 港 神戶
 船長姓名 福地小太郎
 證券作成年月日 昭和十六年一月十一日
 證券作成地 神戶
 證券發行人 大阪商船株式會社

對於主文揭載之證券業經公示催告在案但於其期日之康德八年十月三十日以前並無聲報權利及提出該證券者故判決如主文
 康德八年十月三十日

別紙目錄記載之證券無効ナルコトヲ宣言ス
理 由
 右申立人ノ申立ニ因リ前記證券ニ付康德八年三月二十四日公示催告ヲ爲シタル處其ノ公示催告期日ト定メタル康德八年十月二十日午前十時迄ニ右證券ニ付權利ノ届出ヲ爲シ且其ノ證券ヲ提出スル者ナキヲ以テ右申立人ノ申立ニ因リ公示催告手續法第九條第二十八條ニ依リ主文ノ如ク判決ス
 康德八年十月二十日
 四平區法院 審判官 關文鍾

(別紙) 目錄
 證券ノ表示
 證券ノ種類 小切手
 證券ノ番號 一三〇〇號
 額面金額 國幣壹千壹百五拾圓
 振出年月日 康德七年十一月七日
 振 出 地 西安縣城街
 振 出 人 滿洲中央銀行西安支行
 經理 毛鳳鵬
 支 拂 地 四平街市
 支 拂 人 滿洲中央銀行四平街支行
 受取人ノ表示 無記名式持券人
 北安省綏化縣綏化松不街五一號
 申立人 合資會社山岸組
 右代表社員 山岸 宛作
 新東京特別市豐榮路五〇二號
 右代理人 高藤 常丸

右申立人ノ申立ニ係ル康德八年(黃)第四號公示催告事件ニ付當法院ハ判決スルコト左ノ如シ
主 文
 左記證券ノ無効ヲ宣言ス
 證券ノ表示(但シ重要部分)
 有獎滿洲儲蓄債券 一百二十枚
 券 面 額 十圓
 賣出價格 七圓五角
 償還支拂價格 十圓
 證書回號並組號數 第六回內組自第四三七〇一號至第四三八〇〇號一百枚

第七回內組自第一〇六五一號至第一〇六七〇番 二十枚
 第六回ノモノ康德七年五月
 第七回ノモノ康德七年十二月
理 由
 主文揭載ノ證券ニ付公示催告ヲ爲シタルトコロ其ノ期日タル康德八年十月三十日迄ニ權利ノ届出及證券ノ提出ナキヲ以テ主文ノ如ク判決ス
 康德八年十月三十日
 新東京區法院 審判官 山浦 重三

新東京特別市富士町二丁目四番地
 申立人 田中 正信
 右申立人ノ申立ニ係ル康德八年(黃)第四號公示催告事件ニ付當法院ハ判決スルコト左ノ如シ
主 文
 左記證券ノ無効ヲ宣言ス
 證券ノ表示(但シ重要部分)
 種 類 連帶貨物引換證
 番 號 一三〇三
 荷送人ノ住所氏名 名古屋市西區本町一丁目二〇 株式會社愛知洋紙店
 荷受人ノ住所氏名 新東京特別市八島通二四番地 福昌公司
 運送品名及包裝 川表紙、草包
 箇 數 一三〇箇
 掛 運 費 商船 二百一十二圓一角六分
 滿鐵 一百五十一圓二角
 運賃支拂方法 商船發貨、滿鐵到貨
 運送方法 車扱
 船 積 港 神戶
 陸 揚 港 大連
 船長氏名 福地小太郎
 證券作成年月日 昭和十六年一月十一日
 證券作成地 神戶
 證券發行者 大阪商船株式會社

主文揭載ノ證券ニ付公示催告ヲ爲シタルトコロ其ノ期日タル康德八年十月三十日迄ニ權利ノ届出及證券ノ提出ナキヲ以テ主文ノ如ク判決ス
 康德八年十月三十日

新京區法院 審判官 山浦 重三

奉天市大和區紅梅町第二十 九號

關於另紙目錄所載之證券因前記證請人之聲請業經公示催告在案惟於康德八年十一月六日午前十時之期日前並無向本法院聲請權利及提出證券者故其於證請人之聲請宣示前記證券為無效

康德八年十一月六日

奉天區法院 審判官 新江 泰

(另紙)

- 一 證券之種類及號數 倉庫證券第三四〇八號
- 二 包裝、品名及箇數 木箱裝國防色衣料(壹箇四疋)
- 三 價 格 國幣貳千六百九拾五圓整
- 四 寄託者 佐藤茂雄
- 五 入庫年月日及證券發行年月日 昭和十四年十二月二十六日
- 六 證券發行者 大丸店合資會社

●土地申報書提出期間

爲公告事茲依土地審定法第三條及康德七年院令第四十號關於調查地籍整理實施區域內所存土地之登記之件第一條之規定決定土地申報書之提出期間如左合行公告俾便周知此告
康德八年十一月

安東省長 丁 超

申報地域 寬甸縣

安東省 寬甸縣

太平哨村之内 西岔

屯、庫倉溝屯、小

荒溝屯、白菜地屯

步達遠村之内 石柱

子屯、黃旗溝屯

下瀾河村之内 西溝

屯、萬寶溝屯、渾

江口屯

自康德八年十一月二十日

至康德八年十一月三十日

依康德八年地政總局佈告第一八五號審定地域之審定開始日期康德八年八月一日

左開職員身分證明書遺失今後作爲無效

(民生部・交通部)

計開

姓名	發行年月日
大平 得三	康德七年二月十三日
李 俊 穆	康德七年七月二日
王 成 章	康德七年六月七日
林 敏 夫	康德八年一月二十三日
佐藤 重 夫	康德六年九月十二日
青 柳 豐	康德六年九月八日
小 熊 庚 平	康德八年二月七日
趙 綸	康德五年六月十日

新京區法院 審判官 山浦 重三

奉天市大和區紅梅町第二十 九號

別紙目錄記載之證券ニ付前記申立人ノ申立ニヨリ公示催告ヲ爲シタルトコロ其ノ期日タル康德八年十一月六日午前十時迄ニ當法院ニ權利ヲ届出テ且證券ヲ提出スル者無キヲ以テ申立人ノ申立ニヨリ前記證券ノ無効ヲ宣言ス
康德八年十一月六日

奉天區法院 審判官 新江 泰

(別紙)

- 一 證券ノ種類及番號 倉庫證券第三四〇八號
- 二 荷造、品名及箇數 木箱入國防色設地(壹箇四疋入)
- 三 價 格 國幣貳千六百九拾五圓也
- 四 寄託者 佐藤茂雄
- 五 入庫年月日及證券發行年月日 昭和十四年十二月二十六日
- 六 證券發行者 大丸店合資會社

●土地申報書提出期間

土地審定法第三條及康德七年院令第四十號地籍整理實施區域內ニ存スル土地登記ノ調査ニ關スル件第一條ノ規定ニ依リ土地申報書提出期間ヲ左ノ通定メタルニ付茲ニ公告シテ周知セシム
康德八年十一月

安東省長 丁 超

申報地域 寬甸縣

安東省 寬甸縣

太平哨村之内 西岔

屯、庫倉溝屯、小

荒溝屯、白菜地屯

步達遠村之内 石柱

子屯、黃旗溝屯

下瀾河村之内 西溝

屯、萬寶溝屯、渾

江口屯

自康德八年十一月二十日

至康德八年十一月三十日

康德八年地政總局佈告第一八五號ニ依リ審定地域ノ審定開始日期康德八年八月一日

左記職員身分證明書遺失セル旨届出アリタルニ付今後無効トス

(民生部・交通部)

記

遺失地址(場所)	遺失年月日
福岡市	康德七年十二月三十日
奉天新京間火車中	康德八年五月一日
同	康德八年九月二十五日
奉天驛	康德八年八月五日
安東市大和區	康德八年八月二十六日
東安省勃利縣	康德八年九月二十日
東安省勃利縣	康德八年九月二十日
東安省勃利縣	康德八年九月二十日
新京市永春路市場	康德八年十月十四日

●滿洲帝國

委任官第一種(行政官及司法官) 採用銓衡
委任官第二種(行政官及司法官) 採用銓衡
委任官(技術官及教官) 採用銓衡
滿洲帝國 委任官第一種(行政官及司法官) 採用銓衡
一號文官令ニ依リ指定認定等ニ關スル件ニ依リ施行スルニ付左ノ通告ス
康德八年十一月十一日

總務廳委任文官考試委員會委員長 松 本 俣

一 應募資格
(一) 中等學校以上ノ學校ヲ卒業シタル者又ハ當該學校ノ最終學年ニ在學シ卒業ノ見込アル者

3 教 官
留日學生ニ限ル

- 二 銓衡方法
人物識見考査(口述)及身體檢査トス
但シ身體檢査ハ應募書類中ノ健康診斷書ヲ以テ之ニ代フルコトアルベシ
- 三 施行日時、施行地及施行場所

施行日時	施行地	施行場所
十一月二十二日 午前九時	新大分、大阪、京都、東京、神戶、青森、函館	新大分國民職業指導所、大阪國民職業指導所、京都國民職業指導所、東京國民職業指導所、神戶國民職業指導所、青森國民職業指導所、函館國民職業指導所
同 二十四日	長崎、高松、大坂、東京、秋田	長崎國民職業指導所、高松國民職業指導所、大坂國民職業指導所、東京國民職業指導所、秋田國民職業指導所
同 二十六日	山形、大津、靜岡、旭川	山形國民職業指導所、大津國民職業指導所、靜岡國民職業指導所、旭川國民職業指導所
同 二十九日	大連、松井、福井、仙臺	大連外務司辦事處(常盤町三永喜ビル)、松井國民職業指導所、福井國民職業指導所、仙臺國民職業指導所
同 十二月一日	宮島、津島、前山	宮島國民職業指導所、津島國民職業指導所、前山國民職業指導所

四 應募手續

- 應募者ハ所定ノ日時ニ希望ノ施行場所ニ出頭ノ上左ノ書類ヲ提出スベシ
- (一) 應募願書(行政官及司法官ハ第一號書式、技術官及教官ハ第二號書式)
 - (二) 履歷書(第三號書式、本人自筆ノモノ)
 - (三) 家族調書(第四號書式)
 - (四) 健康診斷書(第五號書式、學校醫又ハ官公立病院ノ證明シタルモノ)
 - (五) 寫眞一葉(出頭前一年以内ニ撮影シタル上半身、脱帽、正面ノ手札型寫眞ニシテ裏面ニ撮影年月日、氏名及生年月日ヲ自署シタルモノ)

- (六) 民籍抄本(滿、蒙及露)若ハ身元證明書(同)又ハ戶籍抄本(日)(施行當日提出シ得ザル場合ハ後日提出スルモ可ナリ)
 - (七) 最終學校ノ人物考査書(第六號書式、應募資格ノ第二號ニ該當スル者ニ付テハ人物考査書ニ代フルニ應募資格ヲ證明スルニ足ル書類)
 - (八) 最終學校ノ學業成績表
- 五 合格者發表
- 合格者ノ氏名ハ康德八年十二月中旬滿洲國政府公報及日本國官報ヲ以テ之ヲ公告シ各合格者ニハ合格證書ヲ付與ス
- 六 其ノ他
- (一) 寫眞ハ裏面上部ニ糊ヲ著ケ寫眞貼附欄ニ貼附スベシ
 - (二) 應募願書及其ノ添附書類ハ第四項記載ノ順序ニ取揃ヘニツ折リ紙燃燬トスベシ
 - (三) 本籍、現住所、通知ヲ受クベキ場所又ハ氏名ニ付變更アリタルトキハ直ニ届出ヅベシ其ノ他ノ事項ニ關スル變更ハ特別ノ事由ナキ限り之ヲ認メズ
 - (四) 應募願書及其ノ添附書類ハ之ヲ還付セズ但シ證書ハ請求ニ因リ之ヲ還付ス
 - (五) 其ノ他詳細ニ付テハ直接若ハ返信用トシテ受取人ノ宛所及宛名ヲ記載シタル封筒及四錢切手(日本ヨリハ日滿返信切手)ヲ添ヘ新大分國民職業指導所人事處考査科內總務處委任文官考査委員會ニ照會セラルベシ

備 考

- 採用後ノ待遇
- 採用銓衡合格者中
 - 1 康德五年院令第三十一號文官令ニ依ル指定認定等ニ關スル件第一條ニ認定セラレタル者ハ委任官ニ
 - 2 其ノ他ノ者ハ委任官試補(委任官ニ準ズル待遇ヲ受ク)ニ任用ス
- (二) 新京在勤者(日采)ニ例ヲ採リタル初任給標準左ノ如シ

學校別	任用官別	本俸		職務津貼		臨時津貼		月收總計		備 考
		津貼	季津貼	津貼	津貼	津貼	津貼	津貼	津貼	
日本國大學	委任行政官	45.00	18.00	8.00	4.00	12.00	12.00	119.00	119.00	上記ノ冬季津貼ハ半年間ノ月收ヲ平均シタルモノナリ
	委任一般	30.00	12.00	5.00	2.50	8.00	8.00	73.50	73.50	
日本國專門學校	委任行政官	35.00	14.00	7.00	3.50	10.00	10.00	109.50	109.50	上記ノ臨時津貼ハ家族四人以上ノ場合ハ本俸七割以上ノ者ニ對シテ本俸四割以上ノ者ニ對シテ八割ニ對シ
	委任一般	25.00	10.00	5.00	2.50	7.00	7.00	76.50	76.50	
甲種中等學校	委任行政官	25.00	10.00	5.00	2.50	7.00	7.00	56.50	56.50	上記ノ臨時津貼ハ家族四人以上ノ場合ハ本俸七割以上ノ者ニ對シテ本俸四割以上ノ者ニ對シテ八割ニ對シ
	委任一般	15.00	6.00	3.00	1.50	4.00	4.00	36.50	36.50	
乙種中等學校	委任行政官	15.00	6.00	3.00	1.50	4.00	4.00	26.50	26.50	上記ノ臨時津貼ハ家族四人以上ノ場合ハ本俸七割以上ノ者ニ對シテ本俸四割以上ノ者ニ對シテ八割ニ對シ
	委任一般	10.00	4.00	2.00	1.00	3.00	3.00	17.50	17.50	

1 本俸ハ新卒業者ノ標準ニシテ過年度卒業者ニシテ職歴ヲ有スル者ニ對シテハ其ノ職歴ニ依リ適宜増額スルコトアルベシ

2 冬季津貼ハ冬季六月間(自十月至翌年三月) 本俸ニ對シ南滿一割中滿一割五分北滿二割ノ冬季津貼ヲ支給ス

3 其ノ他僻地ニ勤務スル者ニ對シテハ勤務地ニ應ジ月額六圓乃至五十八圓ノ勤務地津貼ヲ支給ス

(三) 任用ト同時ニ中央一般職員訓練所其ノ他所定ノ訓練所ニ入所セシメ約二月間官吏トシテ必要ナル一般訓育及實務訓練ヲ施ス但シ留日學生ハ此ノ限ニ在ラズ

(四) 訓練所在所中ハ俸給ヲ支給スル外特殊ノ被服及修學ニ必要ナル圖書其ノ他ノ物品ヲ貸與ス

(五) 採用決定者ニ對シテハ所定ノ赴任旅費ヲ支給ス

(六) 委任官ハ任用後三年ヲ經過セバ高等官資格考試又ハ銓衡ヲ經テ高等官ニ委任官試補ハ任用後一年ヲ經過セバ委任官資格考試又ハ銓衡ヲ經テ委任官ニ任用ス

(七) 共濟、恩給制度
1 共濟制度
共濟法ノ定ムル所ニ依リ療養金、休養金、退出金、遺族扶助金又ハ家族療養金ヲ給付ス

2 恩給制度
制度ノ概要左ノ如シ
イ 退職恩給
一年以上在職シタルトキハ在職年數ニ應ジ所定ノ金額ヲ一時金トシテ支給ス

ロ 傷病恩給
公務ニ因ル傷病ノ爲身體ニ障害ヲ貽シタルトキ之ヲ支給スルモノニシテ傷病年金及傷病一時金ノ二種トス

ハ 死亡恩給
在職中死亡シタルトキ之ヲ其ノ遺族ニ支給スルモノニシテ遺族年金遺族一時金及葬祭料ノ三種トス

(八) 應召又ハ現役兵トシテ入管中ノ待遇
充員召集、國民兵召集及臨時召集ニ依リ六月以上應召シ又ハ現役兵トシテ徵集セラレ在營六月以上ニ互ルトキハ休職ヲ命ズ但シ現役兵ニ徵集セラレ在營六月以上ニ互ルトキト明確ナル者ハ入營ノ日ヲ以テ休職ヲ命ズ

休職中ノ給與左ノ如シ
1 應召
本俸ノ全額職務津貼ノ二分ノ一及冬季津貼ノ全額ヲ支給ス但シ將校又ハ准士官タル者ニ對シテハ特定ノ金額ヲ控除シタルモノヲ支給ス

2 入營
有家族者 本俸ノ二分ノ一職務津貼ノ四分ノ一及冬季津貼ノ全額ヲ支給ス

獨身者 本俸ノ四分ノ一職務津貼ノ八分ノ一及冬季津貼ノ全額ヲ支給ス

銓衡ヲ受クルコトヲ得ザル者
左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ文官考試ヲ受クルコトヲ得ズ

(一) 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

(二) 禁治産者

(三) 準禁治産者

外國ニ於テ前項各號ノ一ニ該當スル處分又ハ宣告ヲ受ケタル者亦前項ニ準ズ

第一號書式(用紙美濃紙)

委任官採用銓衡應募願書

寫眞貼附欄

本籍
現住所
通知ヲ受クベキ場所

氏 年 月 日生

一 希望官別

一 希望銓衡地

委任官採用銓衡應募致度候ニ付書類相添ヘ此段及出願候也

年 月 日

右

氏 名 〇

總務廳委任文官考試委員會委員長 殿

第二號書式(用紙美濃紙)

委任官採用銓衡應募願書

寫眞貼附欄

本籍
現住所
通知ヲ受クベキ場所

氏 年 月 日生

一 希望官別(修得科目)「計技術官(林業)等ノ如ク記載スベシ」

一 希望銓衡地

委任官採用銓衡應募致度ニ付書類相添ヘ此段及出願候也

年 月 日

右

氏 名 〇

總務廳委任文官考試委員會委員長 殿

第三號書式(用紙美濃紙)

履歷書

本籍 現住所 氏 年 月 日 日生 名

學歷 職歴 兵役關係 賞罰 其ノ他

一 宗教 二 運動 三 諸學 四 特殊技能

右之通相違無之候也

年 月 日 右 氏 名

第四號書式(用紙美濃紙)

家族調書

本籍 現住所 氏 年 月 日 日生 名

扶養ノ義務アル家族

本人トノ續柄	戸主トノ續柄	氏	名	生年月日
其ノ他ノ家族	本人トノ續柄	戸主トノ續柄	氏	名
				生年月日

右之通相違無之候也

年 月 日 右 氏 名

第五號書式

健康診斷書

氏 年 月 日 日生 名

身長	體重	胸圍	呼吸縮張ノ差	視力	矯正視力屈折器	視器	聽能 咽喉器	言語精神	關節運動	各部	摘要
----	----	----	--------	----	---------	----	--------	------	------	----	----

年 月 日 醫師 氏 名

第六號書式(用紙美濃紙)

人物考查書

氏 年 月 日 日生 名

性質	行動	勤怠	意志	思想傾向	實力	見聞	趣味	軍事教育ノ成績	總評
(快活、陰鬱、重厚、輕佻等)	(優良可ヲ以テ記入ス)	(優良可ヲ以テ記入ス)	(優良可ヲ以テ記入ス)	(種類、程度等)	實力	見聞	(種類、程度等)	長所及短所	(優良可ヲ以テ記入ス)

年 月 日 學校(學部又ハ機關)長 氏 名

廣告

商業登記

滿洲中央銀行變更(支店)

一 康德七年七月三十一日日本滿洲縣城中街一〇二號之支行變更如左

一 同年八月一日安東縣城中街二六號之支行變更如左

一 同年八月十五日奉天滿洲附屬地千代田通二八之支行變更如左

一 奉天市大和區千代田通第三〇號

一 世和德福記合名會社解散

一 因組織變更合資會社康德七年九月十日解散

一 合資會社設立

一 商號 世和德合資會社

一 本店 永吉縣樺皮廠街一一一號

一 支店 永吉縣樺皮廠街八三號

一 永吉縣樺皮廠街六八號

一 目的

一 棉絲麻毛人絹織品生活必需品和洋百貨一切

一 日用雜貨販賣

一 二麵粉粒麵火柴煤油煙草飲料度量衡膠皮鞋各種配給品販賣

廣告

商業登記

滿洲電業株式會社社債發行及變更(支店)

第一回呂號擔保附社債

一 呂號社債ノ總額 日本通貨一千三百萬圓

一 呂號社債ノ各社債金額 一百圓、五百圓、一千圓、五千圓及一萬圓ノ五種

一 呂號社債ノ利率 年四分三釐

一 呂號社債償還方法及期限

一 呂號社債ノ元金ハ康德六年六月二十日ヨリ

一 康德八年六月二十日迄償還キ其後每半年各

一 利拂期日ニ金三十二萬五千圓以上ヲ償還又

一 ハ買入銷却シ康德六年六月二十日迄ニ殘額

一 全部償還又ハ買入銷却スルモノトス此ノ場

一 合ニ於テ償還又ハ買入銷却スベキ日ガ銀行

一 休業日ニ當ルトキハ其ノ前日ニ之ヲ繰上テ

一 委託會社ハ康德八年六月二十一日以降何時

一 ニテモ信託證書並呂號社債發行契約證書所

機關

康德六年五月三十日 瓦房店區法院

一 呂號社債ノ各社債ニ付拂込ミタル金額 全額

一 康德六年七月一日支店ヲ左ノ地ニ設立ス

一 支店

一 延吉縣延吉街大和區吉宇路二牌

一 佳木斯市協和大街第二段街

一 合資會社河野實店變更

一 康德六年七月三十日社員出資ノ目的金トアル

一 國幣ト變更ス

一 同日左ノ者無限責任社員ニ入社ス

一 國幣四千圓 全部履行 山本キヨ子 奉天市

一 大和區琴平町七番地

一 同日有無限責任社員ノ員數及出資總額ヲ左ノ如

一 夕變更ス

一 國幣六千圓 四名

機關

康德六年六月二十九日日本本店ヲ左ノ地ニ移轉ス

一 本店 奈良縣南葛城郡所町一一〇番地

一 滿洲製紙株式會社變更

一 取締役大江友次ハ康德六年七月八日辭任シ同

一 日左記ノ者取締役ニ就任ス

一 古川鐵治郎 兵庫縣武庫郡精道村蘆屋宇山角

一 寺田元之助 岸和田市北町八八番地

一 村田 豐 堺市大須北町一五番地

一 同日左記ノ者監査役ニ就任ス

一 藤井滿彦 大阪市西區本田三番町二番地

一 滿蒙染織株式會社變更

一 取締役宮井信藏、總井藤吉郎ハ康德六年六月

一 三日登記

一 西二道街一號九番

一 康德七年十月三日登記

第一回愛國航空彩票中彩號票

<p>第一回愛國航空彩票中彩號票</p> <p>茲將第一回愛國航空彩票中彩號碼列下自康德八年十一月二十日起在各地代賣所憑彩票免付得彩金</p> <p>康德八年十一月十七日</p> <p>經 濟 部</p>		<p>8,005</p> <p>9,846</p> <p>12,437</p> <p>12,488</p> <p>12,931</p> <p>13,801</p> <p>16,621</p> <p>17,502</p> <p>19,414</p> <p>20,110</p> <p>26,973</p> <p>30,289</p> <p>31,183</p> <p>34,963</p> <p>38,234</p> <p>45,997</p>	<p>5,000本)</p> <p>譬如(例へば)</p> <p>5 ...</p> <p>15 ...</p> <p>25 ...</p> <p>35 ...</p> <p>45 49,965</p> <p>55 49,975</p> <p>65 49,985</p> <p>... 49,995</p>
<p>頭 彩 參萬圓(1)</p> <p>11,449</p>	<p>22,490</p> <p>28,228</p> <p>38,038</p> <p>38,052</p> <p>40,337</p> <p>45,104</p> <p>47,541</p>	<p>末 彩</p> <p>五 圓 (10,000)</p> <p>0 8</p>	<p>末字爲0者計5,000號 (末字ノ番號ガ0ナルモノ5,000本)</p> <p>譬如(例へば)</p> <p>10 ...</p> <p>20 ...</p> <p>30 49,960</p> <p>40 49,970</p> <p>50 49,980</p> <p>60 49,990</p> <p>... 50,000</p>
<p>頭彩附彩 壹百圓(2)</p> <p>11,448</p> <p>11,450</p>	<p>參 彩</p> <p>伍 百 圓 (20)</p> <p>204</p> <p>1,416</p> <p>3,279</p> <p>7,288</p>	<p>四 彩</p> <p>拾 圓 (5,000)</p> <p>5</p>	<p>末字爲8者計5,000號 (末字ノ番號ガ8ナルモノ5,000本)</p> <p>譬如(例へば)</p> <p>18 ...</p> <p>28 ...</p> <p>38 49,958</p> <p>48 49,968</p> <p>58 49,978</p> <p>68 49,988</p> <p>... 49,998</p>
<p>貳 彩 壹千圓(10)</p> <p>2,801</p> <p>11,999</p> <p>14,044</p>	<p>參 彩</p> <p>伍 百 圓 (20)</p> <p>204</p> <p>1,416</p> <p>3,279</p> <p>7,288</p>	<p>末字爲5者計5,000號 (末字ノ番號ガ5ナルモノ5,000本)</p>	

三十日辭任シ同日左記ノ者取締役ニ就任ス

山田芳太郎 東京市神田區旭町三番地

山田 菊雄 奉天市大和區紅梅町二七番地

手塚 弘 奉天市鐵西區皇姑屯滿蒙毛織株式會社社宅

同日監査役山田芳太郎ハ康德六年六月三十日辭任シ同日左記ノ者監査役ニ就任ス

福山 武雄 奉天市大和區住吉町六番地

八木直次郎 奉天市大和區東亞街五段第一號

康德六年七月十三日登記

●合資會社設立

一商號 合資會社山田商店

一本店 奉天市大和區千代田通二五番地

一目的

一建築金物建築材料販賣

二右ニ附帶スル一切ノ業務

一設立年月日 康德六年七月十四日

一無限責任社員ノ氏名住所出資ノ目的價格及履行ノ部分

國幣三千五百二十圓三角八分 全部履行 山田直造 廣島市白島西中町四三番地

國幣二千四百七十九圓六角二分 全部履行

山田雅男 奉天市大和區千代田通二五番地

一有限責任社員ノ員數及出資總額

國幣四千圓 二名

一存立ノ時期 設立ノ日ヨリ滿二十箇年

●滿洲製氷株式會社清算人變更

一清算人小杉與次郎ハ康德五年十一月十八日死亡ス

一同年同月十九日左記ノ者清算人ニ就任ス

小杉米松 奉天市大和區千代田通二番地

●麒麟麥酒株式會社變更(外國支店)

一康德六年七月三日左記ノ事項ヲ追加ス

存立ノ時期 設立登記ノ日ヨリ向フ一百箇年

●興亞印刷株式會社變更

一取締役大山行吉ハ康德六年三月十日其ノ住所ヲ奉天市大和區葵町三三番地ノ四ニ移轉ス

一監査役原安三郎ハ康德六年一月二十五日其ノ住所ヲ東京市麹町區富士見町一丁目一八番地三ニ移轉ス

康德六年七月十四日登記 奉天區法院

一般廣告

名稱變更公告

弊組合ハ豫テ滿洲國百貨店業者ヲ以テ組織致居候處今般滿關貿易一元化ニ對應シ關東州百貨店業者ト合流一體化セル新構成ニ依リ業務ヲ開始仕候ニ付テハ弊組合名稱ヲ左記ノ通變更仕候條御高承ヲ賜リ度此段謹告仕候

(舊) 滿洲百貨店組合

(新) 滿關百貨店組合

滿關百貨店組合

理事長 橫井太郎

本部 新京特別市
支部 新京、大連、奉天、哈爾濱

康德八年十一月十日

社告第特三號

滿洲麻袋株式會社遵照農部指令第一六四二號及農部佈告第五四號指定之地域（錦州省、奉天省、吉林省及四平省等之洋麻及青麻）以外之地域自康德八年十一月五日起依照左記價格及方法實行收買洋麻及青麻
康德八年十一月五日

滿洲麻袋株式會社

取締役社長 奧平廣敏

一 買入地

貨物所在地之市縣旗與農合作會（以下簡稱爲興農合作社）或受有洋麻及青麻之販賣許可者（以下簡稱爲麻棧）

二 向興農合作社或麻棧所購買之價格

興農部大臣告示所示之購入價格（參照政府公報揭載之第二二五一號）相同

三 向興農合作社或麻棧所購買之品質及等級

興農部大臣告示所示之品質標準（參照政府公報揭載之第二二五一號）相同

四 檢查及檢量

依照前號品質等級於興農合作社或麻棧實行之

五 對於農民收買資金

（甲）對於興農合作社買入豫定額查定後由滿洲棉花株式會社通過興農合作社中央會先行付款
（乙）對於麻棧有必要時得由滿洲棉花株式會社先行付款

六 等級、梱包、保管及發送

於興農合作社或麻棧實行之

七 保管責任

由最先寄發站受託後至貨物乘車止之保管責任者爲興農合作社或麻棧

八 品質責任

於紡麻工場或滿洲棉花株式會社指定之地方至貨物發送完了止之品質責任爲興農合作社或麻棧

九 積送

向滿洲棉花株式會社所指定之地方積送之

十 斤量

依發送站裝車檢斤量爲標準

十一 輸送諸費

出站運搬費及鐵道積送運送運費皆由滿洲棉花株式會社負擔其費

十二 收買諸費、自然減量補填額及收買手續料

交易場收買諸費收買後之自然減量補填額及收買手續料皆填入買入價格中

社告第特三號

滿洲麻袋株式會社ハ興農部指令第一六四二號ニ基キ興農部佈告第五四號ニ依リ指定セラレタル地域（錦州省、奉天省、吉林省及四平省）共ニ洋麻及青麻（以外ノ地域ニ付左記價格及方法ニ依リ康德八年十一月五日ヨリ洋麻及青麻ノ買入ヲ行フ
康德八年十一月五日

滿洲麻袋株式會社

取締役社長 奧平廣敏

一 買入先

在荷地ニ於ケル市縣旗與農合作社（以下興農合作社ト稱ス）又ハ洋麻及青麻販賣業ノ許可ヲ受ケタル者（以下麻棧ト稱ス）トス

二 興農合作社又ハ麻棧ヨリノ買入價格

興農部大臣ニ於テ告示アリタル買入價格（政府公報第二二五一號揭載參照）ニ同

三 興農合作社又ハ麻棧ヨリノ買入品質等級

興農部大臣ニ於テ告示アリタル品質標準（政府公報第二二五一號揭載參照）ニ同

四 檢查及檢量

前號品質等級ニ基キ興農合作社又ハ麻棧ニ於テ之ヲ行フ

五 農民ヨリノ收買資金

（イ）興農合作社ニ對シテハ買入豫定額ヲ查定ノ上滿洲棉花株式會社ヨリ興農合作社中央會ヲ通シ前渡ス
（ロ）麻棧ニ對シテハ必要アルトキハ滿洲棉花株式會社ヨリ前渡ス

六 選別、梱包、保管及發送

興農合作社又ハ麻棧ニ於テ之ヲ行フモノトス

七 保管責任

最寄發驛受託後貨車乘迄ノ保管ニ付テハ興農合作社又ハ麻棧ノ責任トス

八 品質責任

紡麻工場又ハ滿洲棉花株式會社ノ指定スル地ニ於ケル荷渡完了迄ノ品質ニ付テハ興農合作社又ハ麻棧ノ責任トス

九 積送

滿洲棉花株式會社ノ指定スル地ニ向ケ積送スルモノトス

十 斤量

原則トシテ發驛貨車乘檢斤ニ依ル

十一 輸送諸掛

驛出運搬費及積送鐵道運賃ハ滿洲棉花株式會社ニ於テ其ノ實費ヲ負擔ス

十二 收買諸掛、自然減量補填額及收買手續料

交易場收買諸掛、收買後ノ自然減量補填額及收買手續料ハ買入價格込トス

有利な利益配當
昭和新種養老
便利な効力延長

安田生命

奉天支店 奉天市大和區稻葉町
南滿洲地方部 鞍山市北三條町
新京出張所 新京市永樂町二ノ六
哈爾濱出張所 哈爾濱モストワヤ街一〇〇
牡丹江監督所 牡丹江地金鈴街三ノ二
撫順監督所 撫順市東三條通一

電機校 校外生募集

基礎講義 A列五號 全十二卷

普通學と電氣學とを適當に按配して普通學の講義が何時とはなしに電氣工學の講義になる様に苦心編纂したもので國民學校修了者にも電氣一般がよく解る電氣工學修業の入門講義録として可

標準テレゴグ A列五號 全十二卷

基礎修了者又は中學卒業者の進むべき理想的高等電氣專門長距離教授の講義録で殊に校外生部に於ては質疑應答及答案添削の特典あり、選試受験者の好伴侶として世に定評あり

◎入學案内 申込次第送附

東京市神田區錦町二丁目二番地

電機學校

電話 神田 一一二一 一三二一 一三二二
振替 東京 一一三二 一一八四

大東亞共榮圈確立！無電技術の完成！（學則要三錢）

晝、夜間部 A組 四月五日 入學
新學期 B組 拾月拾日 入學
普通部（二ヶ年制）尋小卒業者以上
速成部（一ヶ年制）尋小卒業以上ニシテ十九才以上
格豫科（一ヶ年制）尋小卒業以上

創立昭和九年・最高の無線通信士の養成（無試驗入學許可）

武藏野高等無線電信學校

名譽顧問 貴族院議員 徳川義親
校長 正四位子爵 建部光麿
名實共ニ完備・智育・德育・體育・理想的鍊成機關
東京市澁谷區幡ヶ谷原町八〇〇 電話 四一〇三 四一〇四 四一〇五 四一〇六 四一〇七 四一〇八 四一〇九 四一〇一〇
（代直専用）
（宿舎専用）

第貳期決算報告書

（自康德七年九月一日起至康德八年八月三十一日現在）

資産之部		負債之部	
未拂込資本金	一三〇,〇〇〇.〇〇	貸付金	六〇,六〇二.五五
土地	三,七三三.六六	預金	三,五九〇.三五
家屋	三三,〇〇〇.〇〇	現金	三,七三六.三五
精米機	一四,五〇〇.〇〇	負債計	六六,九二九.四〇
高粱機	一四,五〇〇.〇〇	資本金	四〇,〇〇〇.〇〇
精米機	七,〇〇〇.〇〇	積立金	一,五〇〇.〇〇
自働車	一七,五〇〇.〇〇	積立金	一,五〇〇.〇〇
什器	二九,一六六.三五	別途積立金	一,五〇〇.〇〇
商掛	三,四二二.六六	借入金	一三九,三〇〇.〇〇
投資金	二〇,一八〇.〇〇	前線受入金	六四,七三三.〇五
有價証券	一,七九二.五〇	前期繰越金	六七九.八一
保證金	四三〇.〇〇	当期利益金	一八,七〇六.六六
保金	四三〇.〇〇	合計	六六,九二九.四〇

滿蒙興業株式會社

公主嶺敷島町六丁目

價目 定一月七角五分（國內） 一角五分（國外） 各郵費在內
發行所 東京 國務院 總務處
電話 二〇〇〇（呼出） 國務院 長官 官舎（編輯）
新東京 新東京 印刷 刷
電話 二〇〇〇（呼出） 國務院 長官 官舎（編輯）
電話 二〇〇〇（呼出） 國務院 長官 官舎（編輯）
電話 二〇〇〇（呼出） 國務院 長官 官舎（編輯）

大同二年七月六日第三種郵便物認可
昭和八年三月十六日第三種郵便物認可
康德八年十一月十九日發行（日刊）
政府公報 第二千二百六十號